

# ちびっこ チャンピオン

「お願い事が叶いますように」

きらら保育園のなかよしたち

(左から)

せりた はるとくん (6さい)  
 やまね りおなさん (5さい)  
 かわぞえ ふうかさん (5さい)  
 はらた いぶきくん (6さい)  
 こ ん え まくん (5さい)  
 さいとう のどかさん (6さい)  
 くまがい うたのさん (5さい)  
 かわうち ま なさん (6さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草



樺



深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは誕生日を迎えたちびっこ達をご紹介します



**吉田 陽瑞くん**  
 (風合瀬) R2777生  
 「ママ卒業して、パパのこともきてほしいな(涙)」



**福澤 慶大くん**  
 (関) R3771生  
 「わが家のおしやべり次男坊！大好きだよ！」

## 草創教育長の「今月の一枚」

### ふくれ上がる要求

絵はドイツの街かどです。ドイツには、二十年ほど前、視察研修に出ました。その時、日本では例えば中学校に相当する学校の校長先生が話した内容は、衝撃的でした。

「子どもが、学校の外で酒・タバコで騒ごうが万引きしようが、教師には関係ない。全て親、地域の責任だ。」

ドイツは、学校と親・地域の役割に明確な線が引かれ、正直うらやましく思えました。

一方、わが国は、世界有数の学校依存社会です。教科指導、部活動指導、いじめ・不登校対応、コロナ予防等の日常的指導の他にも、何か事件が起きたり社会的要請が高まるたびに、もっとああしろこうしろと、学校に新しい圧がかかります。

防災教育、食育教育、キャリア教育、ICT教育、主権者教育、消費者教育、環境教育、人権教育、インクルーシブ教育、LGBT教育、ボランティア教育……。

「〇〇教育」は数えきれません。一つ一つは大事な考えですが、授業カリキュラムの中に少しづつ溶けこむ形で増えていきます。そうやって、学校への要求は際限なくふくらんできたのです。

学校がどうにかしろ。上の姿勢

がそうなので、親・地域もマネをします。

以下、私が経験した、非常識な要求を列挙します。

学校のケガで迎えに来たんだから交通費や日当を払えとわめく父。電話口で担任を変えろと、朝から酔ってろれつ回らない母。酒の勢いで校長室に来て、特別支援のやり方が気に入らないうと嘆く祖父。子どもが登校を渋っているから担任が車で迎えに来いと、当然のように命令する祖母。登下校の子どもの声がるさいと叫んで職員室のガラスをたたき割る学区住民……。きりがありません。

これからの学校は、理不尽な要求には毅然として闘う姿勢も、時に必要です。

教員の頃、いつか言い返そうと思って取っておいた、過激な決めゼリふがあるのです、一つだけ紹介して終わります。

学校はクリーニング屋ではありません。家庭でつけた落としようがない汚れを、さあきれいにして返せと言われても無理です。

(教育長 草創 文人)

